

# まぜれば「ごみ」、分ければ「資源」

じょうずに分けてごみを減らそう

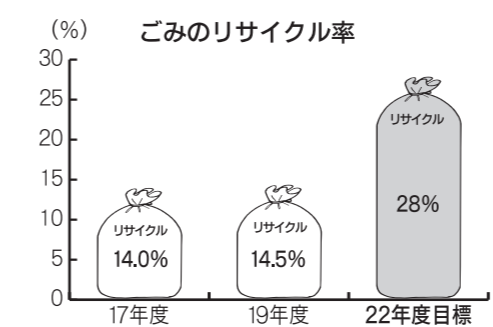
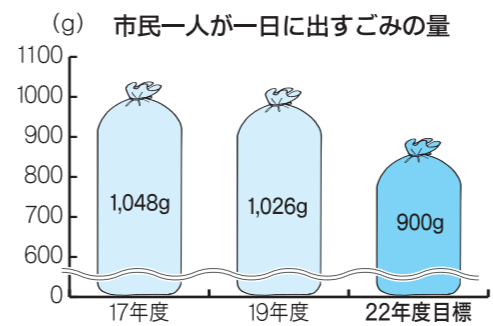


## ごみの分別にご協力ください

平成19年度に、彦根市内から出されたごみの量は、約41、670tです。これは、市民一人が、1日あたり約1、026gのごみをだしていることになりま。また、このうちの14・5%がリサイクルされています。

彦根市では、今後、分別方法やごみ区分の見直しを進めることにより、平成22年度には、市民一人が一日に出すごみの量を900gに、リサイクル率

## 彦根市のごみの現状と目標



を28%にすることを目標としています(左グラフ)。皆さんのご協力をお願いします。

## プラスチックごみの正しい分別

彦根市清掃センターが収集した、プラスチックごみの約6割は、清掃センター内の資源化施設で選別しています。このうち、良質な容器包装プラスチックのみをリサイクル原料として出荷しています(右下图)。

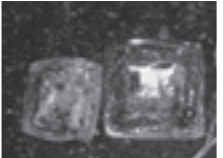
「プラスチックごみ」の正しい分別にご協力ください。「プラスチックごみ」の正しい出し方を、次に説明しますので参考にしてください。

## プラスチックごみは「プラマーク製品のみ」

「プラスチックごみ」の対象となるプラスチック類は、主に容器や包装に「プラマーク」(左図)の付いているものです。プラスチック製のおもちゃや日用品のほとんどは、「プラスチックごみ」の対象です。プラマーク以外のプラスチック製品は、大型のものは「粗大ごみ」に、小型のものは「陶器類その他ごみ」に分別してください。



食品は残さないで！  
食品などで汚れたプラスチック(写真左)は、選別作業の大敵です。中身を出し、軽く水洗いして出してください。



## ライターや包丁などは絶対入れないで！

「プラスチックごみ」のなかから「陶器類・その他ごみ」に出してください。また、電池は、それだけを袋に入れて、「陶器類・その他ごみ」の収集日に、スプレー缶は、使い切ってから穴をあけて、「缶・金属類」に出してください。



## ペットボトルは回収ボックスへ

「プラスチックごみ」のなかに、ペットボトルが多く入っています。ペットボトルは、キャップとラベルを取り、軽く水洗いして、自宅近くのペットボトル回収ボックスに入れてください。

問い合わせ先 彦根市清掃センター  
管理課 ☎22-2734番、FAX24-7787番

## 視察ごみ収集システム

「視察ごみ収集システム」は、10月13日(月)は、通常通り収集を行います。ただし、清掃センターへの直接搬入はできませんので、ご注意ください。



また、河瀬、亀山、稻枝学区は、「びん類」の収集もを行います。

詳しくは、ごみ収集カレンダーをご覧ください。  
問い合わせ先 彦根市清掃センター管理課 ☎22-2734番、FAX24-7787番

## 彦根市は「彦根市低炭素社会構築都市宣言」を行いました

一人ひとりが、二酸化炭素の排出を削減し、地球にやさしい行動をしましょう。



## だれもが手軽にできる、地球にやさしい行動で二酸化炭素の削減効果

- ①風呂の残り湯を洗濯に使いまわす
  - 一世帯あたりの年間の二酸化炭素の削減効果 約7kg
  - 一世帯あたりの年間節約効果 約4、200円
- ②家族全員が、シャワーの時間を一日1分減らす
  - 一世帯あたりの年間の二酸化炭素の削減効果 約69kg
  - 一世帯あたりの年間節約効果 約7、100円
- ③炊飯器の保温をやめる
  - 一世帯あたりの年間の二酸化炭素の削減効果 約34kg
  - 一世帯あたりの年間節約効果 約1、900円

※「家庭でできる取り組み10項目」(2007年4月、全国地球温暖化防止活動推進センター)より  
問い合わせ先 彦根市生活環境課 ☎30-6116番、FAX27-0395番

## 低炭素社会の構築を目指して

—エコ生活を見つけよう—

## エコライフの集い

ごみの減量は、彦根市が目指す、「低炭素社会構築都市」の実現にもつながります。彦根市清掃センターの施設見学や、ごみの分別、処理、リサイクルの現状を楽しく学習しましょう。  
日時 10月18日(土) 9:30～15:00  
主会場 彦根市清掃センター(野瀬町)  
主な内容

- 清掃センター施設見学会 4回に分けて開催。職員のご案内で各施設を見学します。(①10:30～、②11:30～、③12:30～、④13:30～)
  - ガラス細工製作体験 不要になった空きびんを利用した、ガラス工芸の製作体験。  
定員 100人(先着順)、加工代 300円
  - ごみの分別体験 実際のごみを使ってごみの分別を体験し、正しい分別の方法を学習します。
  - 地球温暖化防止科学実験 発電の仕組みや、地球温暖化のメカニズムを、指導員が分かりやすく説明します。  
時間 13:30～15:00  
対象 小学生以上の子どもと保護者  
定員 40人(15組)、申込期間 10月2日(休)～
  - 汚泥肥料と花の種などの配布 し尿処理によって生じる汚泥肥料や、生ごみ処理によって製造された肥料の展示と無料配布。花の種も配布します。
- 申込・問い合わせ先  
彦根市清掃センター管理課 ☎22-2734、FAX24-7787

☆できるだけ、公共交通機関か自転車、徒歩でご来場ください  
路線バス 彦根駅から 三津屋線 文化プラザ口下車 徒歩8分  
南彦根駅から 南彦根県立大学線 老人ホーム前下車 徒歩8分



## 市民環境フォーラム ～地産地消でエコひこね～

フードマイレージという言葉を知っていますか。「食料の重さ×輸送距離」で表されるこの数字は、食品の生産地と消費地が、近いほど小さく、遠いほど大きくなります。輸送距離の長さは、燃料の消費量、つまり二酸化炭素の排出量に直結します。日本国民の一人あたりのフードマイレージは、世界のなかで1位です。

このようななかで、現在は、輸送距離を短くするために、地元や近隣産の食料や、木材を利用する「地産地消」が進められています。

今年の市民環境フォーラムは、「地産地消」をテーマに、低炭素社会の構築に向けて皆さんと一っしょに考えます。

日時 10月18日(土) 9:50～11:30  
場所 滋賀松下電工(株)(野瀬町・文化プラザ西側)  
内容  
第1部 基調講演 徳満勝久さん(滋賀県立大学准教授)  
活動発表 地産地消の取り組み  
第2部 パネルディスカッション  
定員 50人(先着順)  
申込・問い合わせ先  
彦根市生活環境課 ☎30-6116、FAX27-0395